

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
高田雁木通り地区

平成24年2月

新潟県上越市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4- 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	観桜会への来場者数	人/年	884,300	1,000,000	1,108,000	確定 見込み		あり なし	796,700	H23年5月	×	3月の東北大震災及び長野県北部地震が影響したため	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	震災直後の特別な状況下での観桜会となり、遠方からの観光客を中心に来場者が大幅に減少した。
指標2	当該計画で整備する施設への年間来場者数	人/年	2,498	150,000	151,864	確定 見込み		あり なし	151,768	H23年5月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	当該計画で整備した施設は、地元のまちづくり活動や来訪者の街歩きの拠点施設として好評である。
指標3	観桜会期間の町家地区来訪者に占める観桜会会場との回遊率	%	48.5%	70%	85.1%	確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	高田公園内への街なかの歴史資源を紹介する看板やチラシの設置による効果が徐々に現れている。
指標4	観桜会期間の町家地区来訪者に占める本町商店街との回遊率	%	23.5%	70%	70.8%	確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	商店街地区の企画イベントの町家地区への拡大により、両地区のイベントの相乗効果が発揮された。
指標5	寺町駐車場の年間利用者数	台/年	0	28,800	23,175	確定 見込み		あり なし	23,175	H23年5月		駐車場利用者数は事後評価で見込んだ状況が続いた。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	数値目標に届かない状況であるが、寺町観光客や観桜会来訪者の駐車場としての機能は評価できる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4- その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	歴史資源を活かしたまちづくり活動を行うNPO法人数	団体数	0	/	3団体	確定 見込み	/	/	3団体	H23年5月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	NPO法人として設立された3団体は、各々多彩な事業を企画し、地域の活性化を牽引している。
その他の数値指標2	歴史資源を活かした市民主催イベントの年間開催回数	開催回数	7回	/	18回	確定 見込み	/	/	18回	H23年5月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	市民団体による様々なイベントが開催され、地域の主体的な活動が定着してきていると評価できる。
その他の数値指標3			/	/		確定 見込み	/	/		H 年月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4- 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5- に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市民によるまちづくり活動のサポート	・地域活動支援事業	・平成22年度に創設した地域活動支援事業には、 雁木軒先を風鈴で飾る「風鈴街道」イベントなど市 民の地域資源活用事業が多く提案、実施された。	地域活動支援事業を行う市民団体間の調整、事業のコー ディネートによる相乗効果の発揮
	“まちなか回遊観光”のためのインフラの整備	・まちなか回遊観光を促進するための案内看板の設置 ・市民による雁木整備を促進するための雁木整備事業補助金 の交付	・市外からの来訪者向けの歴史資源案内看板の 設置。 ・雁木の修繕、段差解消が徐々に図られている。	回遊ルートの形成、環境整備の推進、重点エリアの設定の検討
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	商業地区における一層の経済効果の創出	・旧高田共同ビル再生事業	・再開発事業として現在事業中。(再開発ビルの 分譲マンションは予約完売済み)	再開発ビル等のハード事業のほか、「上越市(高田地区)中心 市街地活性化基本計画」に位置付けられた商店街活性化に資 するソフト事業の推進、充実
	高田らしい“まちなか回遊観光”の高田市街地一帯へ の拡大	・越後高田町家三昧、や「風鈴街道」などの市民との協働イベ ントの実施	・「風鈴街道」には、雁木のある高田地区33町内 の参加があり、まちづくり機運が広範囲に広がっ た。	高田ならではの食や文化、特産品などの磨き上げ、新たな試み の付加による高田のまちの魅力向上
	地域住民の暮らしと調和した観光化	・「越後高田町家三昧、や「風鈴街道」などの市民との協働イベ ントの実施	・「越後高田町家三昧」での行燈設置や「風鈴街 道」での飾り付けをはじめ、地元住民の理解、自 主的な協力が見られた。	地域住民のおもてなしと観光客のマナー向上に向けた事業の具 体化

事後評価シート 添付様式5- から転記

様式4- フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
高田のまちの全国に向けた情報発信と交流人口の拡大	平成26年の「高田開府400年」を平成27年3月の北陸新幹線開業のプレイベントとして 位置付け、市民総参加による記念事業を実施し、城下町高田を全国に向けて積極的に PRする。	平成25～26年	市民団体、地元商店街、町内会との連携強化、市民参画による事業の盛り上 げ